

JW

03500.017374

PATENT APPLICATION



IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Application of:

KEIJI TOMIZAWA ET AL.

Application No.: 10/614,009

Filed: July 8, 2003

For: INK JET RECORD HEAD

) : Examiner: R. Gordon
): Group Art Unit: 2853
): Allowed: January 12, 2005
): Confirmation No.: 9526
): February 14, 2005

Mail Stop Issue Fee

Commissioner for Patents

P.O. Box 1450

Alexandria, VA 22313-1450

LETTER TRANSMITTING INFORMATION FOR PLACEMENT IN OFFICIAL FILE

Sir:

A Notice of Allowance having been issued in the above-identified application on January 12, 2005, Applicants hereby submit a copy of a foreign Official Letter/Search Report issued in a counterpart foreign application, to be placed in the official file. An English translation of the Official Letter/Search Report is not readily available to Applicants' attorneys, but may be provided if required by the Examiner.

It is noted that the documents cited in the Official Letter/Search Report, namely EP 1 167 471 and U.S. Patent No. 5,646,662, are already of record in the subject application, having been cited in the Information Disclosure Statement dated June 1, 2004, and having been

considered by the Examiner, as indicated by the initialed copy of the Form PTO-1449 returned with the Notice of Allowance.

Applicants' undersigned attorney may be reached in our Washington, D.C. office by telephone at (202) 530-1010. All correspondence should continue to be directed to our below-listed address.

Respectfully submitted,



Attorney for Applicants
Douglas W. Pinsky
Registration No. 46,994

FITZPATRICK, CELLA, HARPER & SCINTO
30 Rockefeller Plaza
New York, New York 10112-3801
Facsimile: (212) 218-2200
DWP/tmc

DC_MAIN 192690v1

中华人民共和国国家知识产权局

邮政编码: 100022 北京市朝阳区东三环中路 39 号建外 SOHO A 座 31 层 北京市金杜律师事务所 韩登营	发文日期
申请号: 031467822	
	
申请人: 佳能株式会社	
发明创造名称: 喷墨记录头	

第一次审查意见通知书

1. 应申请人提出的实审请求, 根据专利法第 35 条第 1 款的规定, 国家知识产权局对上述发明专利申请进行实质审查。

根据专利法第 35 条第 2 款的规定, 国家知识产权局决定自行对上述发明专利申请进行审查。

2. 申请人要求以其在:

JP 专利局的申请日 2002 年 07 月 10 日为优先权日,
 JP 专利局的申请日 2003 年 07 月 07 日为优先权日,
 专利局的申请日 年 月 日为优先权日,
 专利局的申请日 年 月 日为优先权日,
 专利局的申请日 年 月 日为优先权日。

申请人已经提交了经原申请国受理机关证明的第一次提出的在先申请文件的副本。

申请人尚未提交经原申请国受理机关证明的第一次提出的在先申请文件的副本, 根据专利法第 30 条的规定视为未提出优先权要求。

3. 经审查, 申请人于:

年 月 日提交的 不符合实施细则第 51 条的规定;
 年 月 日提交的 不符合专利法第 33 条的规定;
 年 月 日提交的

4. 审查针对的申请文件:

原始申请文件。 审查是针对下述申请文件的

申请日提交的原始申请文件的权利要求第 项、说明书第 页、附图第 页;

年 月 日提交的权利要求第 项、说明书第 页、附图第 页;
 年 月 日提交的权利要求第 项、说明书第 页、附图第 页;
 年 月 日提交的权利要求第 项、说明书第 页、附图第 页;
 年 月 日提交的说明书摘要, 年 月 日提交的摘要附图。

5. 本通知书是在未进行检索的情况下作出的。

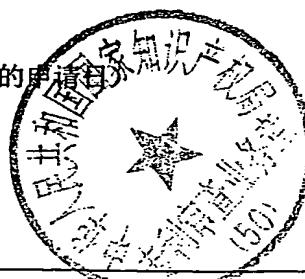
本通知书是在进行了检索的情况下作出的。

本通知书引用下述对比文献(其编号在今后的审查过程中继续沿用):

编号	文件号或名称	公开日期 (或抵触申请的申请日)
1	EP1167471A2	2002. 01. 02
2	US5646662A	1997. 07. 08

6. 审查的结论性意见:

关于说明书:



申请号 031467822

申请的内容属于专利法第5条规定的不授予专利权的范围。
说明书不符合专利法第26条第3款的规定。
说明书不符合专利法第33条的规定。
说明书的撰写不符合实施细则第18条的规定。

关于权利要求书：

权利要求_____不具备专利法第22条第2款规定的新颖性。
权利要求_____1, 4, 5不具备专利法第22条第3款规定的创造性。
权利要求_____不具备专利法第22条第4款规定的实用性。
权利要求_____属于专利法第25条规定的不授予专利权的范围。
权利要求_____不符合专利法第26条第4款的规定。
权利要求_____不符合专利法第31条第1款的规定。
权利要求_____不符合专利法第33条的规定。
权利要求_____不符合专利法实施细则第2条第1款关于发明的定义。
权利要求_____不符合专利法实施细则第13条第1款的规定。
权利要求_____不符合专利法实施细则第20条的规定。
权利要求_____不符合专利法实施细则第21条的规定。
权利要求_____不符合专利法实施细则第22条的规定。
权利要求_____5不符合专利法实施细则第23条的规定。

上述结论性意见的具体分析见本通知书的正文部分。

7. 基于上述结论性意见，审查员认为：

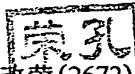
申请人应按照通知书正文部分提出的要求，对申请文件进行修改。
申请人应在意见陈述书中论述其专利申请可以被授予专利权的理由，并对通知书正文部分中指出的不符合规定之处进行修改，否则将不能授予专利权。
专利申请中没有可以被授予专利权的实质性内容，如果申请人没有陈述理由或者陈述理由不充分，其申请将被驳回。

8. 申请人应注意下述事项：

(1)根据专利法第37条的规定，申请人应在收到本通知书之日起的肆个月内陈述意见，如果申请人无正当理由逾期不答复，其申请将被视为撤回。
(2)申请人对其申请的修改应符合专利法第33条的规定，修改文本应一式两份，其格式应符合审查指南的有关规定。
(3)申请人的意见陈述书和/或修改文本应邮寄或递交国家知识产权局专利局受理处，凡未邮寄或递交给受理处的文件不具备法律效力。
(4)未经预约，申请人和/或代理人不得前来国家知识产权局专利局与审查员举行会晤。

9. 本通知书正文部分共有 2 页，并附有下述附件：

引用的对比文件的复印件共 2 份 15 页。



审查员：孔改荣(2672)
2004年12月9日

审查部门 机械发明审查部

21301
2002.8



回函请寄：100088 北京市海淀区蔚蓝门桥西土城路6号 国家知识产权局专利局受理处收
(注：凡寄给审查员个人的信函不具有法律效力)

第一回審査意見通知書本文

出願番号：0314782.2

明細書に説明したように、本出願は液体吐き出しヘッドに関し、特にインクジェット記録を行う液体吐き出しヘッドに関する。審査を経て、現に審査意見は下記のように提出する。

1、 クレーム 1 に保護を求めている技術案は、専利法第 22 条第 3 款規定の進歩性を備えない。引用例 1 に画像記録過程と画像形成装置が公開され、具体的に下記のような技術特徴が公開されている。“流路構成基板と、複数のジェットと、各ジェットに液体を供給する供給室と、液滴を吐き出すジェット先端開口である複数の吐出口とを備えるインクジェットにおいて、前記ジェットが、液滴を吐き出せる熱エネルギーを発生するための吐き出しエネルギー発生素子により気泡が発生する発泡室と、前記吐き出し口を含み前記吐き出し口と前記発泡室との間を連通する部分である吐き出し口部と、前記発泡室にインクを供給する供給路と、吐き出しエネルギー発生素子を含み、前記流路を基板に構成してその主面上に結合する素子基板とが設けられている”（引用例 1 の説明書第 17～19 ページ、図面 11、16、20～22）；引用例 2 には記録ヘッドが公開され、具体的に以下の技術特徴が公開された。“前記吐き出し口を含み、直径がほぼ一定である第一吐き出し口部（引用例 2 において 23A、23B、33、53）と、前記第一吐き出し口部に連通すると共に、段差を有して第一吐き出し口部と発泡室とに連通する第二吐き出し口部（引用例 2 における 22、32、52）を有する吐き出し口において、前記第二吐き出し口部である、前記発泡室と境を接する部分と、前記第二吐き出し口部である、前記第一吐き出し口部と境を接する部分が、曲率を持つ壁により連続的に形成されることを特徴とする液体吐き出し口（引用例 2 の前文を参照）”。これらにより分かるように、引用例 1 と引用例 2 には、既に当該クレームの全ての技術特徴が開示されている。引用例 1 に基づき引用例 2 を結び付けて、当該クレームに保護を求めている技術案を得ることは、当業者にとって明らかで容易に見出すものであり、且つ両方の結合は予想外な技術効果を生じていない。従って、クレームに保護を求めている技術案は突出した実質的特徴と顕著な進歩を備えなく、進歩性を備えない。

2、 従属クレーム 4、5 に限定された部分の付加技術特徴は、既に引用例 1 に公開されている（引用例 1 の明細書第 17～19 ページ、図面 11、16、20～22）。上述のように、引用例 1 に基づき、引用例 2 を結び付けることにより、クレームに保護を求めている技術案を得ることは、当業者にとって明らかで容易に見

出すものであり、且つそれらの結合は予想外な効果を生じていない。そのため、引用されたクレーム 1 が進歩性を備えないことにより受け入れられない場合は、当該クレームに保護を求めている技術案は突出した実質的特徴と顕著な進歩を備えないことになる。従って、専利法第 22 条第 3 款に規定された進歩性を備えない。

3、 従属クレーム 5 そのものは多数項従属クレームであり、それが先行する多数従属クレーム 3 を引用したため、《施行細則》第 23 条第 2 款の規定を満たさない。出願人は、当該クレームの引用関係を補正すべきである。

出願人は本通知書に指定された返答期間内に本通知書に提出された問題点に一つひとつに返答すべく、必要なときは出願書類を補正すべく、そうしなければ認められることは困難である。出願人が出願書類への補正是、専利法第 33 条の規定を満たさなければいけなく、元の説明書とクレームに記載された範囲を超えてはいけない。

審査官：孔改栄
コード：2672